



緑の地球環境センターの設立

環境林センターの機能を受け継ぎ、さらに生態植林見本園や有用植物見本園などをそなえた新しい緑の地球環境センターが大同県につくれれることになりました。もとは大同市林業局長城山林場が使用権を有する小老樹の林でした。伐採、抜根して整地するとなるとたいへんな作業ですが、伐ったポプラで炭を焼こう、キノコ栽培もしようと計画していたところ、林業局が全部伐採、抜根してから引き渡してくれました。がっかりしていたのですが、その後後述するように白登苗圃とかけはしの森の閉鎖が決まり、膨大な数の苗木を急遽移植しなければならなくなって、結果的には助かりました。

移植した果樹や苗木もほとんど活着し、アンズも翌年から実をつけています。見本園の整備も少しずつすみ、緑化協力活動の拠点として重要な役割を担っています。